

緑の宝



2017
新年号
No.65



長野県小谷村

.....目 次.....

・高林会長新年の挨拶	2
・川勝知事新年の挨拶	3
・特別支援学校 緑の保全事業	4
・都市緑化樹木育成講座	6
・緑の相談所	8
・みどりのおたより	9
・菌根菌研修会	11
・まちづくり2016 ふれあいイベント、静岡県知事表彰	12
・景観賞審査、静岡県景観セミナー	13
・安倍峠の紅葉、2017年緑化イベント	14
・世界最大の花 ラフレシア	15
・会員名簿	16



公益社団法人 静岡県造園緑化協会

会長 高林 久雄

あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年を迎えられたこと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は当協会が発足してから五十周年という記念すべき年でありました。当協会がこのように歴史を積み重ねることができたのも関係官庁、関係団体の皆様のご指導、ご支援、ご協力の賜物であり、心より感謝いたします。

さて、二〇一六年を振り返ってみますと、四月には熊本地震により五十人もの犠牲者が出ました。また、熊本城の石垣や瓦が崩れる惨状に心が痛みました。八月には台風十号が東北地方を襲い、老人施設で多数の死者が出ました。また、十月には鳥取県中部地震が発生し、つくづく我が国は災害列島であることを再認識し、その中で公益社団法人としての当協会の役割について改めて考えさせられました。

海外に目を向けると北朝鮮が次々とミサイルを打ち上げ、中国は南シナ海での管轄権を主張し、世界各地でテロが頻発し、恐ろしさを感じます。

一方、面白い話題としてはリオ五輪では日本選手が大活躍し四十一個のメダルを獲得したことは記憶に新しいところです。四年後の二〇二〇年の夏には東京で五輪が開催されます。大会では、多くの競技やセレモニーなどが公共空間を利用して行われます。樹木はこうした空間に緑陰や美しくうるおいのある景観を提供します。しかし、道路や都市公園等に樹木が植栽されるようになってから長い年月がたち、大きく育った樹木は、腐朽による事故の発生リスクが高まってきています。こうした公共空間における樹木を起因とした事故では、道路や都市公園管理者の瑕疵が問われるケースも指摘されています。

このため、当協会としても、「都市緑化樹木育成講座」等を開催し、樹木のリスク管理、腐朽や空洞を見抜く技術、適正な管理方法について研鑽を積んでいるところです。安心して公園や道路を散策できるよう私たち造園技術者は口頭から危機感を持って、対応しなければならぬと思います。

本年も皆様からのご支援、ご指導を何卒、宜しくお願い致します。



静岡県知事

川勝 平太

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、昨年は創立五十周年という節目の年でありました。長きにわたる歩みにお祝い申し上げますとともに、昭和四十一年の発足以来、緑豊かな住みよい県土づくりに多大な貢献をされている会員の皆様に、深く敬意を表します。

最近では、浜名湖花博への出展、東日本大震災の瓦礫撤去支援、県との災害時応援協定の締結、特別支援学校の緑化支援など、本県施策の推進に御理解と御協力を賜りますとともに、様々な社会貢献活動を展開されています。県として大変心強く、貴協会の日頃の御尽力に対し、厚く感謝申し上げます。

本県は、平成二十五年に世界文化遺産に登録された「富士山」

をはじめ、ユネスコエコパークの「南アルプス」、さらに、昨年十一月、世界で最も美しい湾クラブへの加盟が認められた「駿河湾」や、世界かんがい施設遺産に登録された「源兵衛川」など、世界クラスの魅力が県内各地にあふれています。

こうした世界基準の魅力を最大限に生かした地域づくりとともに、水や緑を生かした都市空間の形成、自然と調和する美しい景観の創造、保全への取組が、地域の魅力を高め、国内外から多くの人々の憧れを呼ぶための大きな力になることでしょう。引き続き、県民や緑化団体の皆様と連携し、「住んでよし 訪れてよし」の「ふじのくに」の実現に向けて、「緑豊かな住みよい県土づくり」に積極的に取り組んでまいります。

美しい花と緑に囲まれた、うるおいのある魅力的な「ふじのくに」づくりを進めるために、高度な専門知識と技術を兼ね備えた、貴協会のお力添えが欠かせません。関係の皆様におかれましては、今後とも「ふじのくに」の魅力を高め、美しい緑を保全する活動への御指導、御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健康と御活躍を心からお祈りし、新年の御挨拶といたします。

特別支援学校 緑の保全事業

富士特別支援学校



富士特別支援学校の土入れ作業

富士特別支援学校では平成二十八年十月二十日に花壇に土入れ作業を行い、十月二十七日に花苗を植えました。
生徒は中学部の十二名、先生は四名参加でした。

この生徒は植穴を掘るのにポット苗の大きさの空き缶を利用していました。

植えた苗はビオラ、パンジー、シロタエギク、アジュガ、セイヨウイワナンテンの五種です。

指導は赤池造園㈱の赤池弘源氏、㈱小林造園の小林千尋氏、㈱望月庭園の望月紀志氏の三名です。

第三回目の活動はたい肥作りを予定しています。



花苗の植え付け作業

袋井特別支援学校



袋井特別支援学校の土入れ作業

平成二十八年九月六日、花壇に土入れ作業を行いました。

指導は市川造園㈱ 市川明広氏、㈱山本造園 山本哲也氏、㈱昭花園 寺田祐一郎氏、㈱大瀬造園 堀之内一友氏、みどり園㈱ 高林久雄氏の五名です。

十一月八日には花苗を植えました。

生徒は中学部の農耕班十二名、先生三名が参加しました。

植栽した花苗はチロリアンデージー、キンギョソウ、アリッサム、ナデシコ、ネメシアです。

三学期には卒業式を彩るフラワー作りを行う予定です。



手際よく植えていきます。



吉田特別支援学校



デザインのアドバイスをする岩本氏

平成二十八年十月十二日、花壇デザインを決める授業を行いました。生徒は中学部の九名、先生は四名参加しました。
指導は(南)岩本造園の岩本桂典氏、従業員は(佐)山氏の二名。
掲揚台グループは富士山とお日様、校門グループはハートマークを作るようになりました。



楽しそうに植えています。

十月十八日にいよいよ花苗の植え付け作業です。
指導は(南)岩本造園の岩本桂典氏、(南)松浦造園の池田氏、(南)特種東海フオレストの町田氏です。
作業は掲揚台グループ五名、校門グループ四名に分かれて行いました。校門は狭いので植えた花苗を踏みそうになりました。
十月二十六日に花壇づくりの仕上げの作業を行いました。
生徒は中学部の六名、先生は四



校門花壇の前で記念撮影

名参加でした。
指導は(南)岩本造園の岩本桂典氏、(南)松浦造園の池田氏、(南)特種東海フオレストの栗山氏です。
学校の校門にハートがあるところはあまりないと自慢できる花壇になりました。花壇が完成し、記念写真を撮影した後、閉講式で指導員に感謝状が贈られました。



いただいた感謝状



感謝状を贈られる岩本氏

都市緑化 樹木育成技術講座

平成二十八年十月十三日、天神山自然観察の森で「平成二十八年度化と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第一回講習会」を静岡県さくららの会と共催で開催しました。

講師は（公財）日本花の会結城農場長・樹木医 田中秀明氏です。

参加者は当協会の会員ほか富士宮市、富士土木事務所職員、また、今後、当地で森づくりのボランティア活動をする予定の隣接地にあるブリジストンケミテック㈱社員など三十人です。

天神山自然観察の森は、富士宮市上井出に、静岡県造林課が昭和四十一年から四十五年にさくら母樹園として整備をしました。昭和五十三年に自然保護課に所管が移り、「桜見本園」として管理されてきました。昭和六十三年度と平成元年の二か年で、静岡県が自然観察路・野鳥観察小屋などの整備を



大半のサクラが枯れている



行つて、自然と親しみ観察できる「天神山自然観察の森」となりました。平成元年に県と富士宮市が協定を締結し、維持管理は富士宮市が行うようになりました。ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ヤマザクラなど十五種の桜が植えられ、春には見事な景色となりました。



てんぐ巢病のサクラ



遊歩道は苔に覆われている



斜面も雑草やツルに覆われている



芝生広場はシダが密生している

しかし、その後、植えられた桜は老木となり、ほとんどの桜は枯れてしまい、また、遊歩道も季節によっては雑草が生い茂り、訪れる人もほとんどいなくなっていました。

平成十三年からは衰退樹や被圧樹の伐採整理が行われましたが、その後も、樹勢は衰えるばかりでした。

今回の講座では田中先生にこのような状況になった原因を教えてください。ととともに、その対策について、考えようというものです。

ソメイヨシノは寿命が六十年と言われていますが、青森県には記録が確かなもので樹齢百三十年以上のソメイヨシノがあります。

樹勢の悪い木は、開花期に枝先が枯れているので、空が見えます。また、落葉期に芽がついている長く伸びた枝がありません。幹に地衣類やキノコが生えています。植栽間隔が狭いため、年月の経過とともに生育空間が不足し、竹箒を

逆さにしたような樹形になってしまいます。ソメイヨシノは同じクローンなので、競合状態が続き、共倒れ状態になってしまいます。天神山自然観察の森でのサクラの衰退の原因はてんぐ果病の蔓延であるといえます。一見、てんぐ果病の枝は見えないようですが、罹患した枝は既に腐って落ちてしまっているようです。



講師の田中秀明氏

また、ヤマザクラなどでてんぐ果病に罹りにくいものも枯れているのは、菌が蔓延しているからです。てんぐ果病はタフリナ菌というカビの一種が病原菌である伝染病です。罹患した場合は落葉期に切除します。教科書では必ず焼却するようになっていますが、葉の裏に菌がつくので落葉期中であれば、焼却処分は不要です。



実物を見ながらなのでわかりやすい

また、コスカシバなど害虫の被害もありました。

衰退の原因が土壌の固結や養分不足の場合は土壌改良や木から一メートルから一・五メートル離れたところに肥料を施す(林業用の肥料のまるやま1号など)ことにより樹勢は回復します。

天神山自然観察の森ではまず、間伐して密度を下げるのが肝心です。また、てんぐ果病が蔓延しているので、エドヒガンなどてんぐ果病に強い樹種を補植する必要があります。

枯れた木や枝は危険なので早急に切る必要があります。「サクラ切るバカ」と言いますが、それは迷信で早い段階で切ることが重要で、傷口の処置をすればいいだけです。



緑の相談所開設

当協会では東部、中部、西部の各支部が各市町で開催される緑化イベントの中で緑化相談所を開設しています。

花が咲かない、病害虫の悩みなどの相談が多いようです。
花の種や緑化関係のパンフレットの配布も行っています。



御殿場市緑化フェア



三島市みどりまつり



浜松 花と緑の祭

秋の園芸市

平成二十八年十月二十九日、三十日の二日間、清水日本平運動公園多目的広場で「平成二十八年度秋の園芸市」が開催されました。植木や花苗の販売コーナーは雨のため、ぬかるんでいて気の毒でした。毎年大人気の赤土プレゼントは場所が変わったためかいつもよりお客さんも少ないようでした。



緑化相談所



赤土プレゼント



園芸市も盛況です

次世代に引き継ぎたいサクラ文化

サクラは世界全体で百種以上あるといわれるが、日本に自生しているのは十種ほどである。日本人にはサクラは太古から信仰の対象であり、春を知らせ、種播きの目安になり、広く生活に関わってきた最も身近に親しまれてきた花木である。

江戸時代になるとサクラが植栽され、人が集まる川の土手や山でお花見が始まった。お花見はサクラの群植、群衆、飲食の三要件が揃った日本独特の文化で、江戸時代から始まったといわれている。サクラの品種が爆発的に増大したのも江戸時代である。ソメイヨシノは江戸末期に栄井豊島区内から売り出された。品種名の付いたサクラは自生種や野生種に対してサトザクラ(里桜)の総称で呼ばれている。

これら大方の品種は枝変わりや自然交雑で発生したと考えられている。

ソメイヨシノは、明治維新という時代の転換期に、日本全体に急速に植栽された。ソメイヨシノは葉が出る前に樹冠一杯に爛漫とした花で覆われ、華やかな景観を呈する。花と言えばサクラ、サクラと言えばソメイヨシノが日本人にはイメージされる状況になっている。現在では、日本に植栽されているサクラの八割以上はソメイヨシノと言われている。

このようなサクラについて、静岡県県さくら会の巡回指導事業に同行する時に感じたことや、日々の感じていることも加えて、私見をいくつか述べてみたい。

1. サクラの特性

(1) サクラは陽樹(良好な日当たりをこのむ)である。大木や建物の被圧に弱い。

葉の光合成で生長、短枝の葉腋で着葉期に花蕾形成。晩秋まで着葉が健全。

(2) 見えている地上部は半分、見えない地下部(根)が半分で構成。地下部が地上部を支える。

樹冠域≒根域分布、枝葉と根系は連結、連動の関係。有効土層が深いと高樹に。樹冠域に芝生や灌木植栽は好酸素の根に不適、樹冠域の踏固め・盛土は不適。

根も呼吸をする。排水良好土壌を好み、根の切除・移植は苦手。嫌地性がある。

(3) 自家不和合性(同じ品種同士で花粉が付いてもサクランボができない現象)である。ソメイヨシノは何株あっても一株一本からのクローンなので

サクランボはできないが、他の品種・種とは相互に結実し、野鳥等が散布する。

(4) 「サクラ伐る馬鹿」は著名な俚諺である。地上部も根系も切除でダメーシを受ける。

サクラはお花見時だけの関心で普段は放任されている戒めの俚諺でもあろう。

定植時 幼木期、成木初期は個人や地域で管理ができる。サクラは若木ほど剪定、整枝のダメーシが少なく、回復力が旺盛である。定植時から

もこまめな樹形管理が最良。

(5) ソメイヨシノは天狗果病に罹り易い。有効な農薬はなく、罹病枝の適切な切除が肝要。

2. サクラ植栽は企圖にあり

(1) サクラの原点は自生種。自生種域への品種植栽は自生種を混乱・破壊する。

(2) 品種・場所の選択、生長と管理を見越して、次世代以降も展

望した選択が肝要。ソメイヨ

シノは天狗栗病に罹り易いの

で、ジンダイアケボノなど天

狗栗病に罹りにくいサクラの

植栽も視野に。植栽場所は日

照と有効土層、株間隔は数十

年後に樹冠の枝が重ならない

距離を確保。

(3) 計画的な樹形管理。二十年後

の成木の姿を想像し、植栽時

から計画的な管理が肝要。

3. サクラの管理と伐る馬鹿

(1) 計画的なサクラ植栽により、

剪定・整枝の負荷軽減の樹形

管理推進が可能である。

(2) 定植時から適切な剪定、整枝

による樹形管理をし、成木か

ら老木の切除を軽減する。

(3) 公園等公共事業では、植栽か

ら管理まで業者委託となるの

で専門性が肝要である。

(4) 個人管理のサクラも成木期以

降の樹形管理は業者でない

と不可能である。

(5) 除草剤使用はサクラに障害を

与え、枯死の危険がある。草

刈機での株元傷も多い。

4. お花見のマナー

樹冠域への立ち入りによる踏み

固めはサクラ樹の衰退につながる。

永くサクラを楽しむためにどうす

るべきか考える必要がある。

5. 静岡県は多様なサクラ資源の宝庫

(1) 本県にはフォッサマグナ要素

のオオシマザクラとマメザク

ラを含め九の自生種がある。

(2) カンヒザクラやヒマラヤザク

ラの導入が早く、カワヅザク

ラ等早咲きが突出している。

(3) ソメイヨシノの研究伊豆梵

生説やジンパンク機能をも

有する遺伝子研究所がある。

(4) ワシントンポトマック河畔

に寄贈したサクラの苗木の原

種が、農研機構果樹研究所カ

ンキツ研究興津拠点にある。

6. 共有したいサクラの情報

「一旦人手を掛けたものは最後まで

で手抜きできない」はサクラにも

当然あてはまる。桜の名所や公園、

個人の屋敷の管理状態を見ている

と、サクラは植栽から枝の不適切

な切除が結構目立つ。今だけ、金

だけ、自分だけ」でなく、依頼者を

含めてサクラの情報を共有し、適

切に管理することを痛感する。そ

うすることによって日本のサクラ

文化は次世代に引き継いでいける

ものではないでしょうか。

(静岡県さくら会会長

樹木医・水戸喜平)



富士宮市の狩宿の下馬桜

造園施工管理技士会菌根菌研修会



平成二十八年十一月十九日、県立田方農業高校で造園施工管理技士会の研修会を開催しました。

望月会長のあいさつのあと、造景部の部長と副部長がこれまでの研究成果を発表しました。

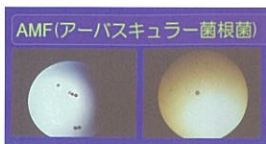
そのあと、渡邊先生が「菌根菌とは何か」基礎編を講演しました。

共生微生物には菌根菌と根粒微生物があります。菌根菌には外生菌根菌（キノコ）、アーバスキュラー菌根菌（ほとんどの植物）、内生菌根菌（ツツジの仲間と共生）があります。根粒微生物はマメ科の根粒菌、ハンノキ、ヤマモモの放線菌があります。

菌根菌は、土壤中に張り巡らした菌糸から、主にリン酸や窒素を吸収して宿主植物に供給し、代わりにエネルギー源として共生主となる植物が光合成により生産した炭素化合物を得ることで、菌自身も成長します。

多くの菌根菌は共生植物に対し明確な成長促進効果があり、実際に、菌根菌を取り除いた土壌で栽培した植物は生育が悪くなる傾向にあります。

菌根菌は細根に共生し、外生菌根菌はコルク層ができてから共生するという二段階です。樹木への接種ではイチヨウの成長が良かったようです。芝生との相性も良いことを確認したそうです。



研究発表のスライドより

土に炭を混ぜることにより（一平方メートルあたり三百グラム程度）菌根菌が発達します。炭は導管の穴が大きいマツ、スギ、ヤナギが良いそうです。

菌根菌の接種の利点は、苗木の生育が早い、乾燥した土壌にも耐える、貧栄養土壌でも飼育が可能、病原菌の侵入にも抵抗できる等です。

田方農高ではバビアグラスから菌根菌を採取し、コーヒー蔭に菌根菌を培養しています。

胞子から菌糸を培養することに成功し、今後は菌糸から胞子の培養を目指し、ほぼ目途はたっているようです。



講師の渡邊幸伸先生



発表する造景部の副部長さん



施工管理技士の20名が熱心に聴講しました。

優秀施工者 国土交通大臣顕彰

平成二十八年十月十七日、東京都港区のメルパルクホールで開催された優秀施工者国土交通大臣顕彰式典で、関小澤造園の寺尾幸蔵氏が表彰されました。



寺尾幸蔵氏

平成28年度建設産業 構造改善推進のついで

平成二十八年九月十五日、静岡市産業交流センターで「平成二十八年建設産業構造改善推進のついで」が開催され、当協会の会員では、御昭花園の寺田恒夫氏が静岡県優秀施工者褒状を授与されました。

第43回静岡県建設業 労働災害防止大会

平成二十八年十月十四日、静岡労政会館六階で「第四十三回静岡県建設業労働災害防止大会」が開催され、当協会からは駿河緑地造成の堀池浩正氏が受賞した。



堀池浩正氏



寺田恒夫氏

「しずおか建設まつり」

平成二十八年十一月二十日に、清水マリナパークで「しずおか建設まつり」が開催されました。静岡市と静岡県建設産業団体連合会の共催で開催されるのは今回が初の試みです。開催場所が広いため、多くの重機や体験型イベントがあり、たくさんの方々が賑わっていました。特に子供たちは色々展示された重機の見学や運転操作などを体験してとても楽しそうでした。



開会式

当協会は、午前十一時と午後一時半の二回、花苗の配布を行いました。花苗は、ガーデンスクラメン百二十、サクラソウ六十、カラシコエ六十です。特にガーデンスクラメンが人気で、午前、午後ともあっという間に配り終わってしまいました。やはり、ハーブや多肉植物より花物の方が人気が高いようです。



花苗配布

景観賞審査



最優秀賞は「豊岡中央交流センター」(公共施設部門)、優秀賞には「三島スカイウォーク」(民間施設部門)、「YMCA 東山荘」(民間施設部門)、「新居関所を中心とした歴史的町並み」(まちなみ部門)、「白糸の里」(田園・農山村部門)、「中央水道跡公園」(景観づくり活動部門)の五か所が選出されました。



豊岡中央交流センター



新居宿 置屋 (小松楼まちづくり交流館)



三島スカイウォーク

景観セミナー



東京大学アジア生物資源環境研究所

堀 繁

「景観とは何か、景観を良くするためにはどうしたら良いか」

景観とは見るることによって得られる視覚像である。論理の体系であり、好き嫌いではない。良い景観とは「見たいものが見やすい状態であること」また、「見たくないものが見えにくい状態であること」。悪い景観とは、「見たいものが見えにくい状態であること」また「見たくないものが見やすい状態であること」。

よい景観を成立させるためには「見せたいものの整備よりも景観を見せる視点の整備が重要である」。良い景観にするためには、ホスピタリティ表現が必要である。おもてなしの形をいかに見せるかが肝心である。商店街で最も重要な施設はベンチ。ベンチのまわりには明瞭なスペースを確保する。

武蔵野美術大学造形学部教授

吉田慎吾

「色彩と景観」

現代の町は色にあふれ「騒色」になっている。公共サインが見えない。全国一律の景観になっている。本来はその地域の「慣例色」があるはずである。その地の色は土の色である。藤沢市の辻堂シークロスでは屋上広告禁止。壁面広告も壁面積の十分の一、高さも地上10m以下、立て看板や幟も禁止という厳しい規制を行っている。

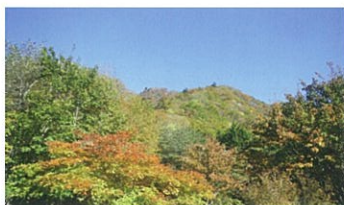
新潟県の上越市では町家づくりや雁木などを生かして古い町並みを再現して成功している。彩度を抑え、落ち着いた風情にして、色は植栽で出す。

静岡市ではミカン畑の防風ネットを青からこげ茶色に変えたところ、ネットは目立たず、ミカン畑の景色が一変した。

安倍峠の紅葉



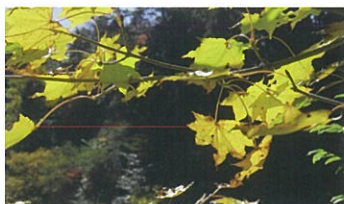
平成二十八年十一月三日、静岡市葵区梅ヶ島の安倍峠に紅葉を見に行ってきました。安倍峠ではオオイタヤマメイゲツは既に落葉していましたが、コミネカエデは真っ赤に、ウリハダカエデは落ち着いた赤色に、イタヤカエデは黄色に紅葉していました。



オオイタヤマメイゲツは黄金色です



コミネカエデの赤が鮮やか



黄色に染まるイタヤカエデ

安倍峠は標高一四一六m、山梨県と静岡県の県境に位置しています。かつて駿河と甲斐をつないでいた交易路でした。

ふもとの梅ヶ島温泉は千七百年前に発見されたと伝えられ、武田信玄の隠し湯として使われたこともありました。

以前は、身延に近いことから湯治客も甲州経由が多かったようです。

現在も林道豊岡梅ヶ島線として山梨県と結ばれています。二〇一一年に発生した台風十五号による大雨のため、法面崩落や路肩決壊があり、山梨県側の大部分で通行止めとなっています。現在、五年が経過しましたが、解除の見通しは立っていません。



2017年に開催される主な緑化イベント

日 時	場 所	イベント名
2017年3月25日(土)～6月4日(日)	神奈川県横浜市各所	第33回全国都市緑化よこはまフェア
2017年4月1日(土)～3日(月) 予定	横浜市西区	2017日本フラワー＆ガーデンショウ
2017年6月2日(金)・3日(土)	名古屋市港区	第8回エクステリア＆ガーデンフェア名古屋2017
2017年9月16日(土)～10月15日(日)	東京都八王子市	第34回全国都市緑化はちおうじフェア
2017年10月11日(水)～13日(金)	千葉(幕張メッセ)	国際フラワーEXPO 国際ガーデンEXPO

世界最大の花ラフレシア

平成二十八年四月にマレーシアのボルネオ サバ州のボーリン温泉の近くの公園でラフレシアの花を見てきました。

ラフレシアは東南アジア島嶼部とマレー半島に分布するラフレシア科ラフレシア属の寄生植物です。植物体をつくる物質も生活に必要なエネルギーもすべて他の植物から収奪して暮らす完全寄生性の植物です。多肉質の大形の花をつけるものが多く、中でもラフレシア・アルノルデイイの花は直径九十センチ程にも達し、「世界最大の花」としてよく知られています。ブドウ科植物の根に寄生し、茎根、葉はなく直接花を出します。花は雄花と雌花に分かれており、雄花の葯からは粘液に包まれてクリーム状になった花粉が出て、花の奥に入り込んだハエが雌花に誘引されて花の奥に入り込み、受粉が成立します。

ラフレシア・アルノルデイイは世界最大の花として広く知られていますが、実際にギネスブックに公認されている世界最大の花は、直径一・五メートルに達するシヨクダイオオコンニャクです。しかし、後者の「花」は厳密には花序とそれを覆う仏炎苞の複合体で、ひとつの独立した花として世界最大なのは、依然ラフレシア・アルノルデイイとみなすことができるということです。

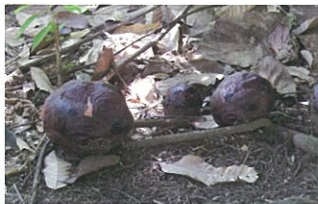
ラフレシアは花の臭いがトイレのようだと言われていますが、私はつぼみ、花、枯れた花を見ましたが、どれも臭くはなかったです。また、この花はマレーシアの重要な観光資源になっていて、個人の庭に咲いていても二千円ぐらいの観覧料を取るようです。



咲いてから1週間くらい経ったもの



ラフレシア公園の入り口



つぼみの群落



咲く2日くらい前のつぼみ

公益社団法人静岡県造園緑化協会

会員名	所在地	電話番号	会員名	所在地	電話番号
株樹園	東伊豆町	0557-23-0648	原田造園	焼津市	054-624-2610
木村造園	東伊豆町	0557-23-1635	長崎樹園	焼津市	054-624-1355
株伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	南富士昌造園	焼津市	054-624-4007
株広野園	伊東市	0557-37-3028	南杉村造園	焼津市	054-624-4030
株植源	伊東市	0557-45-0040	南樹晃園	焼津市	054-624-8941
藤原造園	熱海市	0557-81-4240	株中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
西村造園	熱海市	0557-82-7424	南大石造園	藤枝市	054-643-7282
南伊豆フレンチ	伊豆の国市	0558-76-1564	南太陽造園	藤枝市	054-641-4076
大島造園土木株静岡営業所	裾野市	055-997-2775	株特種東海フォレスト	島田市	0547-46-1551
株富士見園	長泉町	055-986-6567	南若本造園	吉田町	0548-32-2507
南正翠園	長泉町	055-986-3199	南松浦造園	吉田町	0548-32-8887
株大綱造園	御殿場市	0550-83-9767	株雄樹園	御前崎市	0537-96-2684
株植正園	沼津市	055-921-0945	田旗造園建設株	掛川市	0537-22-5951
南緑香苑	沼津市	055-931-0408	株植根造園	掛川市	0537-24-5577
株大志建設	沼津市	055-923-1128	株三宝園	掛川市	0537-24-4128
株翠石園	富士市	0545-71-2236	南小澤造園	掛川市	0537-22-9052
株大松園	富士市	0545-52-5220	南松月園	森町	0538-48-6431
南常葉園	富士市	0545-35-0163	南山本造園	袋井市	0538-48-6592
株望月庭園	富士市	0545-21-5195	株片桐造園建設	袋井市	0538-48-7884
南やまもと園芸	富士市	0545-38-1958	株ハッパ造園	袋井市	0538-43-4355
天野園芸株	富士市	0545-81-0655	トヨタ緑造	袋井市	0538-44-0400
株共立	富士市	0545-85-1213	株庭仁	磐田市	0538-35-5528
南小林造園	富士宮市	0544-24-4533	株植勤	磐田市	0538-34-3030
赤池造園株	富士宮市	0544-24-3568	株浮月園	磐田市	0538-38-0529
株佐野緑化	富士宮市	0544-27-2825	南永井造園	磐田市	0538-38-0500
株岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	南稲垣造園	磐田市	0538-38-1901
南丸福造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	南松島園	磐田市	0538-38-0790
源平造園建設株	静岡市清水区	054-366-5525	南大東園	磐田市	0538-34-4163
株小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	株東豊グリーンメンテナンス	磐田市	0538-32-0018
駿河緑地造成株	静岡市清水区	054-351-2555	南昭花園	磐田市	0538-55-3392
南森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	南東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
木下造園株	静岡市清水区	054-334-0757	株江崎緑苗園	浜松市中区	053-471-1727
不二見造園土木株	静岡市清水区	054-369-2515	株庭明	浜松市中区	053-453-3311
春長園緑化株	静岡市葵区	054-246-7512	株庭勤	浜松市中区	053-455-3980
株ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	みどり園株	浜松市中区	053-456-1165
株森造園	静岡市葵区	054-253-4659	南太陽造園土木	浜松市中区	053-455-4007
静岡観葉株	静岡市葵区	054-261-2094	株エンター	浜松市中区	053-435-8585
南飯田庭園	静岡市葵区	054-245-0513	株大瀬造園	浜松市東区	053-434-1907
株藤浪造園	静岡市葵区	054-245-9870	天龍造園建設株	浜松市東区	053-421-1180
株静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	赤堀産業株	浜松市東区	053-434-4332
株理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	大協造園緑化株	浜松市西区	053-592-4500
株西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	ナイセイ緑地株	浜松市西区	053-485-4631
ソーアイ造園株	静岡市駿河区	054-282-7971	市川造園株	浜松市南区	053-449-4646
株小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	大村造園建設株	浜松市北区	053-437-1128
株落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928	五常園	浜松市浜北区	053-587-4838
株静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593	南寿重植木	湖西市	053-579-0736
加藤造園株	焼津市	054-628-3235			

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、
公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大相町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習支援活動や高校生、大学生のインターシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や静岡県景観整備機構として景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-0031 静岡市葵区只国町2丁目2番地

TEL 054-253-0586 FAX 054-251-9205 URL <http://www.midorinotakara.org/>

平成29年1月発行

編集 啓発労働委員会
監字 桑村文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、この「ふのくに 緑の町内会」の紙を使うことで、緑に接していただく機会を創出し、静岡県の豊かな森づくりをサポートしています。